

37

37

附表 第三

關東上陸地支局 昭和二十一年 三月二十八日

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名)	全右所在地	職官 氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
南砲兵第六聯隊	鹿島野砲隊	小隊長 [Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦關名ヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十七年十一月三日 西部八師隊 庶務 人 二十一日 南砲兵第六聯隊 庶務 昭和十九年九月 陸軍省 南砲兵第六聯隊 庶務 習士官 陸軍省 南砲兵第六聯隊 庶務 任下 且南砲兵第六聯隊 庶務 在 大島 陸軍省 南砲兵第六聯隊 庶務	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦關名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	編成年月日 昭和十七年九月十七日 (大島前) 編成時ノ大島前 中隊六 編成後 陸軍省 南砲兵第六聯隊 庶務 野砲六	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦關名ヲ記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	一 奄美大島 予討 野砲六 二 陣地構築	[Redacted]	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力ノ戦關終了)後ノ概況	一 兵谷 岩 野砲六 二 復員	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]





史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名)		職官	姓名	摘要
重砲兵第六聯隊		小隊長	[Redacted]	終戦時ノモノヲ記ス
唐島縣大島郡		陸軍中尉	[Redacted]	
全右所在地	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴			職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	一 昭和十七年十月一日 二 昭和十七年四月 三 昭和十七年四月 四 昭和十七年四月			職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	一 昭和十七年三月十日 重砲兵第六聯隊ニ加入シ、 二 昭和十七年三月十日 野戦砲兵第六聯隊ニ加入シ、 三 昭和十七年三月十日 野戦砲兵第六聯隊ニ加入シ、 四 昭和十七年三月十日 野戦砲兵第六聯隊ニ加入シ、 五 昭和十七年三月十日 野戦砲兵第六聯隊ニ加入シ、 六 昭和十七年三月十日 野戦砲兵第六聯隊ニ加入シ、			最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
終戦 (又ハ主力ノ戦闘終了) 後ノ概況	一 兵器取扱取扱 其ノ他 甚満足 二 復員業務又復員施設			歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
歸郷 (又ハ連絡) 先	[Redacted]			
其ノ他ノ參考事項	一部将校(八名)ト共ニ重砲兵第六聯隊ニ加入シ、 沖繩ニ分遣カレ、昭和二十一年三月十日浦上陸			
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス			

史實調査參考資料報告

楠由吉

所属部隊

重砲第六隊

職名 隊員

姓名

楠由吉

古江屋町

氏名

陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐

昭和二十一年三月二十八日

昭和二十一年三月二十八日  
重砲第六隊  
隊員  
楠由吉  
古江屋町  
氏名  
陸軍中尉

職務  
少佐



史實調查參考資料報告

所屬(固有名)部隊	職官	終戦時ノモノヲ記ス
重砲兵隊六聯隊	小隊長 陸軍中尉	
全右所在地	大島吉雄氏	
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	<p>昭和十六年十月有應召大島村東北部和赤木町中隊第七中隊ヲ勤務完結 二月同月十二日那霸港上陸 三月中城渡重砲兵聯隊小隊長トシテ服務 三月十九日同月十四日陸軍中尉トシテ任官 四月十九日自奄美大島中隊兵士六聯隊ヲ轉屬トシテ 小隊長トシテ服務也</p>	職ノ變更及主ナル參加戰鬪名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	<p>昭和二十一年九月十七日奄美大島要港重砲兵聯隊 六廿八榴四門 十五加二門 十加四門 野砲六門 聯隊本部一 大隊本部二 中隊六 三編制改修ニ依リ 聯隊本部一 中隊四</p>	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戰經過ノ概要	<p>一 奄美大島防衛警備 二 沖繩戦ニ協力</p>	
終戦(又ハ主力ノ戦鬪終了)後ノ概況	<p>一 兵器 器材被服其他ノ整備運搬 二 服負業務及服負實施</p>	歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡)先	[Redacted]	
其ノ他ノ参考事項	<p>一新婚被(八九)ト共ニ奄美大島復員終了 後米船ニ依リ沖繩ニ合流セシ昭和二十一年三月二十七日沖繩上陸</p>	
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名)

重砲兵第六聯隊

職官

中隊長  
陸軍大尉

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

鹿島郡大島郡吉屋町

氏名

[Redacted]

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十二年九月十三日、先鋒官集、依リ、下関、重砲兵第六聯隊、鷹取、攻、重砲兵第六聯隊、通、係、ト、大、滿、洲、國、河、成、於、作、戰、奉、命、事、向、十、二、年、七、月、十、日、召、集、解、除、昭、和、十、六、年、九、月、十、七、日、臨時、召、集、依、リ、下、関、重、砲、兵、聯、隊、重、砲、兵、大、島、重、砲、兵、聯、隊、中、隊、長、ト、シ、テ、重、砲、兵、大、島、防、衛、隊、中、隊、長、(昭、和、三、十、一、年、三、月、日) 復、命、

職ノ變更及主ナ  
ル參加戰鬪名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

昭和十七年九月十七日、重砲兵大島重砲兵第六聯隊、鷹取、河、成、於、作、戰、奉、命、事、向、十、二、年、七、月、十、日、召、集、解、除、昭、和、十、六、年、九、月、十、七、日、臨時、召、集、依、リ、下、関、重、砲、兵、聯、隊、重、砲、兵、大、島、重、砲、兵、聯、隊、中、隊、長、ト、シ、テ、重、砲、兵、大、島、防、衛、隊、中、隊、長、(昭、和、三、十、一、年、三、月、日) 復、命、

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

一、重砲兵大島防衛整備  
二、中隊職ノ協力

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戰鬪終了)  
後ノ概況

一、兵器、器材、被服其他、整備、運、納  
二、復員業務及復員寄附

歸還輸送ノ狀況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先

[Redacted]

其ノ他ノ参考事  
項

一部、料、被、服、其、他、整備、運、納、  
二、復員業務及復員寄附、  
上、陸、

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス